福島工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	校外実習

科目基礎情報

科目番号	0109	科目区分	専門 / 必修
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	建設環境工学科（R2年度開講分まで）	対象学年	4
開設期	集中	週時間数	
教科書/教材			
担当教員	金澤 伸一		

到達目標

①技術者としての心構えを体得する。
②学校での学習内容やこれから身につけるべきことを実習先の業務内容を参考に確認する。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	到達目標の内容を実践で理解し、応用できる。	到達目標の内容を実践で理解している。	到達目標の内容を実践で理解していない。
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 (D) 学習・教育到達度目標 (F)

教育方法等

概要	社会における技術者の役割を認識するとともに，学校で修得した知識が実社会でどのように活用されているかを理解することにより，今後の学習に役立てる。
授業の進め方・方法	定期試験は実施しない。 実習先からの報告書と報告会での発表内容を100%として総合的に評価し，60点以上を合格とする。
注意点	無遅刻，無欠勤および周囲への気配りなど社会人としてのマナーを遵守するとともに，計画したカリキュラムを遂行し，その後の学業に役立てること。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	（実習受け入れ先の決定） ①実習先の希望調査　②実習先との調整　③実習先の学科内調整　④実習先の決定 主な実習先は以下のとおり。（平成28年度実績・順不同） （株）東コンサルタント，いわき市役所，オリエンタル白石（株），フタバコンサルタント（株），ジェイアール東日本コンサルタンツ（株），新日鐵住金（株），東日本高速道路（株），五洋建設（株），日栄地質測量設計株式会社，港湾空港技術研究所，国土交通省東北地方整備局，水ing（株），清水建設（株），三井共同建設コンサルタント（株），三菱地所コミュニティ（株），産業技術総合研究所，前田建設工業（株），大阪ガス（株），東京ガス（株），アクアエンジニアリング株式会社，福浜大一建設（株），地質基礎工業株式会社，（株）鴻池組，（株）テムロ，西尾レントオール（株）東京支店，（株）東日本建設コンサルタント，常磐開発（株），東京水道サービス（株），（株）ふたば，日本ピーエス，ユニオン建設，長谷川体育施設株式会社，東北大学災害科学国際研究所 （実習の期間） ・原則として第4学年の夏季休業中に実施する。ただし，止むを得ない事情により夏季休業中に実施できない場合は，他の休業中に実施することができる。 （実習の実施） ・実習先のカリキュラムに従い，管理業務補助，計画，調査，測量，設計，積算，施工管理，研究等を体験する。 （成果の報告） ①実習の成果は，本校所定の様式に従い，「報告書」としてまとめる。 ②夏季休業明けに，学科で行う報告会において，実習内容と成果を報告する。	
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		

		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	専門的能力の実質化	インターンシップ	インターンシップ	企業等における技術者の実務を理解できる。	4	
				企業人としての責任ある仕事の進め方を理解できる。	4	
				企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を総合的に判断することの重要性を理解できる。	4	
				企業における社会的責任を理解できる。	4	
				企業活動が国内外で他社(他者）とどのような関係性を持つかを理解できる。	4	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを理解できる。	4	
				企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができ、それを高めようと努力する姿勢をとることができる。	4	
				コミュニケーション能力や主体性等の「技術者が備えるべき能力」の必要性を理解できる。	4	
				実際の企業人等との仕事を通して自身のキャリアデザインを明確化することができる。	4	
				社会経験をふまえ、企業においても自分が成長していくことが必要であることを認識できる。	4	
				実務体験を企業や職種とのマッチングの場として考えて積極的な行動ができる。	4	

評価割合

	試験	発表・報告書等	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	100	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	100	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0